

平成30年度 地域連携部 年間マネジメント

岩美町立岩美中学校

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成				
重点努力事項	(1)20年先を見据えた教育の推進(長期的学力向上) (2)3年間で力をつける岩美中教育の実践(短期的学力向上) (3)学校不適応への対応力アップ				
分掌重点目標	・将来への夢や目標を持ち、進路実現に向けて学習に取り組む生徒の育成 ・困難なことから逃げず、友達とその課題について乗り越えようとする生徒の育成 ・地域とのつながりを大切に、地元へ貢献しようと動くことができる生徒の育成				
柱となる活動	活動へ向けての努力事項 Do	到達目標	評価基準 Check	成果と課題 Do & Check	来年度への提言 Action
みずから学ぶ活動	◎各学年のキャリア学習をとおして、将来への目標を持ち、進路実現にむけて学習に取り組む生徒の育成 ・1年 ふるさと先生とともに ・ 職業調べ ・2年 ワクワクチャレンジ in IWAMI(職場体験学習) ・ 先輩に学ぶ・ 修学旅行に向けて ・3年 修学旅行 ・ 土曜日補充学習	・将来への具体的な夢や目標を持つことができる。	・将来への夢や目標があるについて肯定的評価70%	・2学期生徒アンケートの結果で、73%の生徒が肯定的評価をしている。 ・志を立てる取り組みを全学年で行うことができた。	・生徒が企画・運営・実行できる場面を作り、経験をさせていく。(総合的な学習においても)
みずから鍛える活動	◎メディアとの付き合い方を考え、視聴時間等のコントロールを自らできる生徒の育成 ・生徒、保護者へのメディアとの付き合い方の啓発 ・生活日誌へ記録し、自己評価 ・学活等でメディアとの付き合い方の内容を扱う ◎チャレンジデー(毎月第二、第四水曜日)で挑戦する目標を定め、それに向けて努力する生徒の育成 ・情報委員会と連携	・平日はメディアと接する時間を2時間以内とする。 ・目標を持って自主的に実施する。	・平日のメディアと接する時間2時間以内が60% ・実施率8割	・生活振り返りアンケートで、3学期47.9%の生徒が2時間以内と回答 ・全16回の平均が62.8%	・チャレンジデーの方向性も検討しながら、学習以外のメディア時間を減らす方策を立てていきたい。
みんなと生きる活動	◎地域行事に積極的に参加し、地域から期待される生徒の育成 ・町区長の生徒を中心として、参加、役割分担等を自主的に行う町区別生徒会の運営 ・夏休みボランティア体験教室への積極的参加(特に3年生) ◎異校種との交流をとおして、関わることの大切さを学ぼうとする生徒の育成 ・赤ちゃんふれあい体験、小6・中2交流会、体験入学など ◎誰にでも気持ちの良いあいさつができる生徒の育成 ・若鷺あいさつ見守り隊 ・若鷺見守りDAY	・地域行事等の積極的な参加 ・体験を通して自分の考え方に変化が起きる ・登下校中、校内でのあいさつの活性化	・参加についての肯定的評価75%以上 ・感想による肯定的記述8割 ・参加者から地域での生徒のようすの聞き取り(肯定的な評価)	・アンケートが実施できなかった。 ・生徒アンケートでボランティア参加は71% ※数値は低くなってきている。 ・生徒アンケートで挨拶をしているは93% ※数値は低くなってきている。	・地域貢献できる場を設定していきたい。